

「撮影（写真・動画等）制限」に関するお願い

※以下のお願いと取り決めは、近年、著しい被害があとを絶たない悪質な迷惑撮影を防ぎ、アスリートの安全を守るためのものです。ご理解願います。

- 競技場内の撮影禁止区域内では、いかなる場合も撮影は不可です。
- グラウンド観戦時も撮影は禁止です。
- 競技場スタンドにおいて、一眼レフやミラーレスなどレンズ交換ができるカメラ・ビデオなどのズーム機能が付いたカメラの持ち込み、撮影は禁止です。ただし、大会本部に事前申請を行ったビブス着用の報道機関・各チームに1枚付与する「撮影者」ADカードを着用した出場チーム関係者（監督・コーチ・競技者・チーム関係者）が、大会本部の指定した撮影制限（撮影方向等）を順守して撮影する場合のみ、撮影を許可します。
- 一般の観客の皆さまには、競技者のご家族・ご親戚・ご友人であっても、撮影可能なADカードを大会本部からは直接貸与いたしませんので、ご理解願います。撮影が必要な場合は、所属チームとご相談のうえ、チームに付与する「撮影者」ADカードをチームから借り受けてください。
「撮影者」ADカードは、エントリー数にかかわらず1チームにつき1枚のみ付与します。
※今大会ではこの「撮影者」ADカードのみ運用し、その他のADコントロールは実施しません。
なお、チーム内におけるADカードの受け渡しに関しては、大会本部は関与いたしませんので、各チームでの管理をお願いいたします。紛失した場合の再発行はありません。
- スマートフォンやタブレットによる撮影は規制の対象外です。
- 出場チームが、チームと関係のない第三者にADカードを貸与することは厳禁です。
- ビブスまたはADカードを着用せずに、使用禁止機材で撮影している方がいた場合、競技役員・大会スタッフが確認のため、お声がけさせていただく場合があります。ご協力をお願いいたします。お声がけされたことへの不服・苦情等がある場合、お手数ですが大会本部までお申し立て願います。

～大会に関わるすべての皆様へ 撮影方法等の注意事項～

- 撮影をする際には、次の撮影制限（撮影方向等）を遵守願います。
 - ア) トラック種目のスタート時及び準備動作中・・・前方、後方からの撮影は不可
 - イ) 走高跳・・・正面（クリアランス動作）からの撮影は不可
 - ウ) 砲丸投・・・競技者正面からの撮影は不可
 - エ) 棒高跳、走幅跳、三段跳・・・マット及び砂場後方からの撮影は不可
- フラッシュ撮影や赤外線撮影装置を利用した撮影、及びドローンによる撮影は禁止します。
- スタート時は静寂を保つためシャッター音が鳴らないようご注意ください。
- 三脚や自撮り棒を使用しての撮影は、他の観客に迷惑になる場合があるのでご遠慮ください。
- 競技と関係ない目的での撮影、身体の一部をアップしての撮影、透過撮影、その他迷惑行為を禁止いたします。
- 主催者及び競技者の承諾を得ずに撮影したり、撮影した画像・動画をWeb上（SNS等含む）にアップロードしたりすることは控えてください。放映権及び肖像権の侵害となる場合があります。